

学校教育目標	商業に関する専門的な知識・技術を習得させ、知徳体の調和のとれた社会に広く貢献できる商業のスペシャリスト(有為な人材)を育成する。			重点目標	① 地域に貢献できるビジネスリーダーの育成 ② カリキュラム・マネジメントの構築 ③ 安心・安全に生活できる学校づくり ④ 教員の資質・能力の向上
めざす学校像	① 明るく元気で生き生きとした学校 ② 地域に信頼される学校 ③ 知性と感性を磨く学校 ④ 教師が学び続ける学校	めざす生徒像	① 知性・感性豊かな生徒 ② 自律性豊かな生徒 ③ 社会性を身につけた生徒		

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自己評価					学校関係者評価	総括	
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価と研究授業の実施を踏まえた授業改善。 3年間で全商1級3種目以上合格者10名以上を目指す。 言語活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムマネジメントの柱を整理し運用開始。 全商1級3種目以上合格者が増加(R1:29 H30:9 H29:11) 新聞を活用した授業やHR指導が増加。全校的な課題研究発表会を実施。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実情に応じたカリキュラムマネジメントの運用と校内研修の充実を図りながら授業改善を推進する。 「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善をさらに推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全商1級取得で成果がでている。次年度につながる手立てが必要。 ICTを活用した授業や探究型学習の展開について課題を明確にしながら推進する必要がある。 	○授業のわかりやすさに対する生徒評価が年々改善している。(肯定的回答: R1 60% H30 46% H29 30%) ○教員の指導や学校行事への生徒評価が良好(肯定的回答: 資格取得指導85% 進路指導78% 学校行事84%) ○教員の日々の地道な取り組み、挑戦的な新たな取り組み、指導の工夫が融合して成果につながっている。 ○学校統合や学習指導要領改訂等の学校経営環境の変化への対応を図りながら、学校外の教育資源の活用を含めたマネジメントを充実させ、教育の質の確保につながる事が重要である。
2	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を図る。 全国レベルに挑戦する部活動の育成。 人権意識の高揚を図りいじめ等のない学校を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた学校生活を送っている。 5つの部が全国大会出場を果たした。 いじめ認知件数減少傾向(R1 5 H30 7 H29 12)。 	B	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止・早期発見・対応を組織的に行う。 カウンセリングマインドを取り入れた教育相談活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の相談体制や相談方法の工夫が必要。 ネット利活用における人間関係について継続した指導が必要。 	
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部と3学年との連携を密にし、生徒が見通しを持って取り組めるようにする。 外部連携を強化し指導体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務系就職希望者はほぼ希望動通りに内定。県内就職内定増加(R1 42 H30 41 H29 33)。 公務員、国公立4大合格者が増加。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 企業との情報交換を充実させ生徒・保護者と共有する。 外部連携を活用し公務員希望者への早期指導を実施。 大学入試制度変更へ要対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業や専門学校からの協力を得た取り組みが評価できる。キャリア教育の充実のためにも継続が必要。 	
自己評価及び学校関係者評価の改善点等		<ul style="list-style-type: none"> 成果の継続を目指すために組織的で計画的な学習指導、生徒指導、進路指導が求められている。 キャリア教育について、教員間で成果と課題を共有し改善していけるマネジメントを構築する必要がある。 外部講師の派遣や地元企業からの協力など学校外の教育資源を効果的に活用し豊かな教育活動を実現する必要がある。 					